

## 高校保健・副教材の使用中止と回収を求める会

次々と繰り出される人口増加政策キャンペーン、とても見過ごせません。少子化社会対策大綱の見直しも気になります。少子化対策に関わる情報を検討する勉強会、第3回目を開催します。

〈連続勉強会「国難」のなかのわたしたちのからだ：第3回〉

# 優生保護法の負の遺産

「不良な子孫の出生を防止する」ことを目的とした優生保護法。合意のない強制的な不妊手術や中絶が、やっと可視化されてきました。

一方、優生保護法には母性の生命健康の保護というもう一つの目的がありました。墮胎罪がありながら中絶が条件付きで合法化され、その適用条件が拡大された背景にどんな社会状況や議論があったのかを探ります。

少子化時代の人口政策と優生思想について、過去と現在をつなぐ勉強会、ぜひご参加ください。

日時：2019年5月11日（土） 11:00—13:30

会場：大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス 2階大研修室

地下鉄日比谷線・神谷町駅5分(1番出口から左へ直進)

参加費：500円（学生・非正規雇用の方などは300円）

※準備の都合上下記へお申込みをお願いします。当日参加も可。

### プログラム

- 報告1. 柘植あづみ  
引揚者の「不法妊娠」中絶問題と優生保護法の成立前夜
- 報告2. 大橋由香子  
優生的な不妊化措置と、墮胎罪—中絶許可が意味するもの
- フロア討議

申込み・問合せ先：[stopkyouzai@gmail.com](mailto:stopkyouzai@gmail.com)

（共催：リプロダクティブ・ライツと健康法研究会）